

# 平成28年度 社会福祉法人かながわ黎明会 事業報告書

8月東京都知事就任の小池百合子氏「都民ファースト」、1月アメリカ大統領就任のトランプ氏「アメリカファースト」、グローバリズムから大きく針が振れる。いわゆるヘイトクライムにも通じてしまうのではという懸念が払拭しきれないナショナリズムの台頭には、ある種の不安感を禁じ得ない。7月26日未明に発生した津久井やまゆり園での事件も、そんな社会風潮と無縁ではないのかもしれない。この事件により障害福祉の様々な課題が表面化したことは否めない。19名の犠牲者のご冥福を祈るばかりである。

社会福祉法改正に基づき、定款変更、新評議員の選任をはじめとして具体的な手続き、準備に対応した。様々な変革と混沌の中、平成28年度事業運営状況について次のとおり報告するものである。

## 1. 実施事業

No	事業所名	事業内容
1	くりのみ学園	障害者支援施設 施設入所支援(定員30・現員30名) 生活介護(定員35・現員37名)
2	くりのみ学園短期入所	短期入所(併設型、定員7名)
3	くりのみ園	障害福祉サービス事業所 生活介護(定員10・現員12名) (多機能型) 就労継続支援B型(定員10・現員9名)
4	くりのみ生活ホーム +10/1 サテライト型住居・夢人	共同生活援助(介護サービス包括型、定員4・現員4名、 サテライト型住居 定員1名)
5	地域相談支援センターくりのみ	基本相談支援 + 計画相談支援、地域相談支援事業(地域移行、地域定着支援)
6	くりのみ学園短期入所	地域生活支援事業 ~日中一時支援事業(定員2名)

## 2. 事業結果

- ① 12/1午前1時55分、法人前理事長の芝 敬一氏が93才で厚木市内自宅にて逝去された。神奈川県障害福祉課長等も務められ、県退職後は多くの学校で心理学の教鞭をとられた。昭和62年9月から平成8年4月まで社会福祉法人借恵学園の理事長を務められた。また、当法人の前身である社会福祉法人慧法会(その後、かながわ共同会を経てかながわ黎明会へ)の監事に平成元年12月から就任、平成19年7月から平成25年7月までの6年間理事長をお務めいただいた。12/3厚木市内での葬儀に、小野寺理事長、佐竹副理事長他参列した。ここに改めてご冥福をお祈りし、長年のご尽力に感謝申し上げたい。
- ② 社会福祉法改正に対応し、11/25役員会にて定款変更案等審議、2/20付定款変更認可を受けた。3/10役員会にて、評議員選任・解任委員の選任、新評議員候補者の推薦、それに伴う理事の一部改選の承認を得た。法改正により他役員との親族関係がある青木雅人・佐竹泰三両評議員は3/31付で退任された。また、青木恒也・入倉かおる両理事が新評議員に推薦されたため、高村雅博・小俣直志両評議員が4/1付で理事就任することが承認された。3/13評議員選任・解任委員会を開催、外部委員として社会福祉法人神奈川県厚生協会理事長の岩淵壽郎氏を迎え、候補者を審議の結果、推薦通り7名が新評議員として選任された。
- ③ 11/16相模原市定期指導監査が実施され、要改善事項の指摘は無かった。また、2/17には相模原市障害政策課による実地指導があり、5点の文書指導事項が指摘された。そのうち、施設入所支援の外泊時加算について連絡調整の実態や記録が無い場合には算定できないとの指摘により、5年間遡って過誤請求により返還の指導があり、相模原市への1,564,995円を含め、4市1町に総額2,113,886円を平成29年度に返還することとなった。
- ④ 70才以上の入所利用者5名のうち4名が治療・検査のため入院し、もう1名も水腎症により留置カテーテルが必要になるなど、高齢化(3/31現在入所利用者平均年齢56.6才)に伴う健康管理の困難性が課題となった。更に5件の骨折事案も生じ、その原因がはっきりしない状況があった。常勤看護師1名、非常勤看護師1名の体制で日常の健康状態把握に務めているが、変調への早期対応、医療機関との連携の重要性が再認識された。
- ⑤ 設備面の改善として、10月に事務室コピー機入替(99万円)、12月に降雪対策としてエンジン式除雪機1台整備(50万円)、3月くりのみ学園舎内1階・2階廊下照明をLED化(50万円)等を実施した。また、機器不調による緊急対応として、20年経過したくりのみ園舎内エアコン取替え工事(325万円)、くりのみ学園洗濯棟の大型洗濯機・乾燥機取替え設置(377万円)を3月に実施した。

- ⑥ 短期入所事業延利用日数 2,018 日／年、日中一時支援事業 752 回を実施し、地域ニーズに対応した。また、7/5にはくりのみ学園に検査機関を招聘し骨密度測定会を開催、利用者・職員だけではなく、家族や近隣住民等にも周知し 18 名の参加があった。更に、藤野地区高齢者支援センター主催で月 1 回開催されている「ゆずカフェ(認知症カフェ)」の参加者送迎協力を 3 月から開始した。
- ⑦ 西伊豆宿泊旅行を 10/7(木)～8(金)実施、総勢 106 名で宇久須海岸クリスタルビューホテルに宿泊。一日目は「みんなの Hawaiianns」等、二日目は芦ノ湖遊覧船等で楽しんだ。  
6/4 スポレク大会、8/10 納涼祭、12/22 クリスマス会、3/4 しいたけ祭の定例行事を無事実施した。  
10/28 には前年度に引き続きくりのみ学園主催で童謡歌手・雨宮知子さんのふれあいコンサートを藤野芸術の家ホールで開催、他事業所も招待し交流した。その他、地域行事及び他事業所行事へも積極的に参加し交流を深めた。
- ⑧ 職員確保のため、ハローワーク登録、学校関係求人票送付、県社会福祉協議会の福祉人材センター「福祉のお仕事」サイトへの登録及び福祉のしごとフェア参加、相模原市主催の高齢系と合同の就職相談会市参加、社会福祉事業団主催「障害福祉のしごと相談会」参加、相模原市学生・新卒未就職者等就労支援事業の 2 回の就労マッチング交流会参加等努力した。更にマイナビ、リクナビ転職等も利用して、不足している女性常勤生活支援員補充に努めたが思うような結果が得られず、引続き人材確保に努めている。
- ⑨ 福祉・介護職員処遇改善加算平成 28 年 2 月・3 月分(1,788,148 円)を対象職員 31 名に対して 6 月の期末手当に併せて支給。平成 28 年 4 月～平成 29 年 1 月分加算総額 8,649,497 円を対象職員 31 名に対して 3 月期末手当に併せて支給した。対象外職員についても自主財源により同基準で支給した。
- ⑩ ネットさがみはらオンブズマン相談(10 回／年)の継続、外部研修への参加に加えて、職員会議の際に時間を設けて、権利擁護に関する資料の読み合わせ・研修等を実施し、職員の利用者権利擁護意識向上に努めた。
- ⑪ 7/26(火)未明に発生した津久井やまゆり園での殺傷事件は、19 名の利用者の尊い生命が奪われ、24 名の負傷者を出すという大惨事となった。津久井やまゆり園洗濯業務を受託している当法人としては事件当日より洗濯場所長から情報を得ながら対応に努めた。実際には、津久井やまゆり園本体とくりのみ学園の日中活動を併用していた利用者 2 名の 8 月中日中活動受入れ、県知的障害施設団体連合会経由の要請に対応し 9/5～9/9 日中活動支援応援職員を派遣、津久井やまゆり園短期入所定期利用者のうち 2 名の短期入所受入れ、仮移転に伴う職員転職希望への対応等で協力した。  
8/29 理事長・保護者会長等連名での見舞状発出、10/3 には理事長、保護者会長・通所部会長、利用者代表、職員代表で弔問、献花を行った。洗濯業務については事件後縮小して継続したが、津久井やまゆり園建替えのために平成 29 年 4 月下旬までに利用者が全員仮移転先に移るため、その時点で終了することとなった。

### 3.役員会等の開催

期日	議 題 等		場 所	出 席 者
05/17	監事監査		くりのみ学園 園長室	監事:大塚、中島 理事等:小野寺、今井、長谷川事務員
05/27	評議員会 理事会	平成 27 年度事業・決算報告、 監事監査報告、他	プロミティ厚木ビル 8F 会議室	評議員:10名出席(安田・高村・鈴木氏欠席) 理 事:小野寺・佐竹・青木・入倉・今井 監 事:大塚・中島 (安田氏欠席)
11/25	評議員会 理事会	平成 28 年度第一次補正予算案、定款変更案、評議員選任・解任委員会細則案、県社協借入金償還完了報告、市定期指導監査報告、上半期運営概況報告、津久井やまゆり園事件関係、他	プロミティ厚木ビル 8F 会議室	評議員:10名出席(高村・後藤・鈴木氏欠席) 理 事:小野寺・佐竹・安田・青木・入倉・今井 監 事:大塚・中島
03/10	評議員会 理事会	定款変更認可、評議員選任・解任委員案、評議員候補者推薦案、理事一部改選案、28 年度第二次補正予算案、29 年度事業計画・当初予算案、苦情解決委員会・市実地指導・芝前理事長逝去、他	プロミティ厚木ビル 8F 会議室	評議員:12名出席(後藤氏欠席) 理 事:小野寺・佐竹・安田・青木・入倉・今井 監 事:大塚・中島
03/13	評議員 選任・解任 委員会	新評議員の選任について	プロミティ厚木ビル 8F 会議室	評議員選任・解任委員 3 名出席 外部委員:岩淵壽郎氏(神奈川県厚生協会理事長) 委員:中島博幸氏(監事) 委員:長谷川紀子氏(事務局長) 理事等～小野寺・青木・今井理事